

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム こだなか	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 白山福祉会 ・代表者名 理事長 湖山 泰成 ・住所 川崎市麻生区白山1丁目1番3号	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員50人) 在籍者数 47人(令和2年9月30日現在:入院等不在者を含む) <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> ※民設化に向け利用者数に大幅な変動あり年度途中の数値を記載								介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	0	1	10	12	10	0	33							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																							
	利用者数	0	1	10	12	10	0	33																							
	②通所介護事業(通所定員 15人/日) 年間延べ利用者数 2,297人:定員に対する稼働率68% <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>219</td> <td>230</td> <td>234</td> <td>247</td> <td>222</td> <td>238</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>256</td> <td>189</td> <td>140</td> <td>148</td> <td>37</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月		延べ利用者数	219	230	234	247	222	238		延べ利用者数	256	189	140	148	37	0
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																									
延べ利用者数	219	230	234	247	222	238																									
延べ利用者数	256	189	140	148	37	0																									
③短期入所事業(定員 2人 ) 年間延べ利用者数 1,804人:稼働率247% <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>132</td> <td>137</td> <td>142</td> <td>134</td> <td>183</td> <td>173</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>197</td> <td>218</td> <td>259</td> <td>90</td> <td>84</td> <td>55</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月		延べ利用者数	132	137	142	134	183	173		延べ利用者数	197	218	259	90	84	55	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																									
延べ利用者数	132	137	142	134	183	173																									
延べ利用者数	197	218	259	90	84	55																									
④居宅介護支援事業 給付管理者数(令和2年9月分) <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理者数</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> ※民設化に向け利用者数に大幅な変動あり年度途中の数値を記載								介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数		2	2	3	3	0	10								
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																								
管理者数		2	2	3	3	0	10																								
収支実績	①特別養護老人ホーム事業 (収入)				(支出) (単位:円)																										
	<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>137,645,982</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>31,651,853</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>8,230,440</td></tr> <tr><td>合計</td><td>177,528,275</td></tr> </table>				介護料収入	137,645,982	利用者等利用料収入	31,651,853	その他の事業収入	8,230,440	合計	177,528,275	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>144,704,192</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>32,923,322</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>19,906,357</td></tr> <tr><td>合計</td><td>197,533,871</td></tr> </table> (収支差額) ▲ 20,005,596				人件費	144,704,192	事業費	32,923,322	事務費	19,906,357	合計	197,533,871							
	介護料収入	137,645,982																													
	利用者等利用料収入	31,651,853																													
	その他の事業収入	8,230,440																													
合計	177,528,275																														
人件費	144,704,192																														
事業費	32,923,322																														
事務費	19,906,357																														
合計	197,533,871																														
②通所介護事業 (収入)				(支出)																											
<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>22,194,911</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>2,161,490</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>622,945</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24,979,346</td></tr> </table>				介護料収入	22,194,911	利用者等利用料収入	2,161,490	その他の事業収入	622,945	合計	24,979,346	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>11,740,309</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>4,877,517</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>3,648,565</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20,266,391</td></tr> </table> (収支差額) 4,712,955				人件費	11,740,309	事業費	4,877,517	事務費	3,648,565	合計	20,266,391								
介護料収入	22,194,911																														
利用者等利用料収入	2,161,490																														
その他の事業収入	622,945																														
合計	24,979,346																														
人件費	11,740,309																														
事業費	4,877,517																														
事務費	3,648,565																														
合計	20,266,391																														
③短期入所事業 (収入)				(支出)																											
<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>16,598,245</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>4,776,547</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>796,335</td></tr> <tr><td>合計</td><td>22,171,127</td></tr> </table>				介護料収入	16,598,245	利用者等利用料収入	4,776,547	その他の事業収入	796,335	合計	22,171,127	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>2,643,029</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>3,128,236</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>1,509,856</td></tr> <tr><td>合計</td><td>7,281,121</td></tr> </table> (収支差額) 14,890,006				人件費	2,643,029	事業費	3,128,236	事務費	1,509,856	合計	7,281,121								
介護料収入	16,598,245																														
利用者等利用料収入	4,776,547																														
その他の事業収入	796,335																														
合計	22,171,127																														
人件費	2,643,029																														
事業費	3,128,236																														
事務費	1,509,856																														
合計	7,281,121																														
④居宅介護支援事業 (収入)				(支出)																											
<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>4,502,361</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>117,407</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,619,768</td></tr> </table>				介護料収入	4,502,361	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	117,407	合計	4,619,768	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>4,225,460</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>103,256</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>317,278</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,645,994</td></tr> </table> (収支差額) ▲ 26,226				人件費	4,225,460	事業費	103,256	事務費	317,278	合計	4,645,994								
介護料収入	4,502,361																														
利用者等利用料収入	0																														
その他の事業収入	117,407																														
合計	4,619,768																														
人件費	4,225,460																														
事業費	103,256																														
事務費	317,278																														
合計	4,645,994																														
(収入)				(支出)																											
<table border="1"> <tr><td>介護料収入</td><td>180,941,499</td></tr> <tr><td>利用者等利用料収入</td><td>38,589,890</td></tr> <tr><td>その他の事業収入</td><td>9,767,127</td></tr> <tr><td>合計</td><td>229,298,516</td></tr> </table>				介護料収入	180,941,499	利用者等利用料収入	38,589,890	その他の事業収入	9,767,127	合計	229,298,516	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>163,312,990</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>41,032,331</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>25,382,056</td></tr> <tr><td>合計</td><td>229,727,377</td></tr> </table> (収支差額) ▲ 428,861				人件費	163,312,990	事業費	41,032,331	事務費	25,382,056	合計	229,727,377								
介護料収入	180,941,499																														
利用者等利用料収入	38,589,890																														
その他の事業収入	9,767,127																														
合計	229,298,516																														
人件費	163,312,990																														
事業費	41,032,331																														
事務費	25,382,056																														
合計	229,727,377																														
サービス向上の取組	○入居者の健康管理について、年間を通じて医師による日常の健康管理のもと、「褥瘡0」「誤嚥性肺炎防止」に職員一丸となり努めている。 ○事故防止対策委員会を中心に、更なる事故防止の徹底を行うことで、職員の意識向上、安全なサービス提供に繋がっている。 ○サービス提供の質的向上を図るため、入職者にはOJTを導入し、適切なケアができる体制を実行している。																														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8	
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか				
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか				
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8	
		感染症への対策は適切に行われているか				
(評価の理由)						
<p>「看取りケア」に積極的に取り組み、理解を深めるための内部研修を実施した。看取り介護に対する体制整備については、入所時にご家族の意向を確認し、嘱託医師の意見・指示のもと、看取り対応とするか否かの説明をご家族へ行っている。</p> <p>利用者のご家族への情報提供として、毎月発行の「こだなか通信」を請求書発送時に同封している。入居者等のサービスへのアンケート調査結果を館内に掲示して公表している。</p> <p>地域交流、ボランティアの受入れは、感染症蔓延予防のため全面中止した。</p> <p>感染症への対策においては、感染症防止委員会のメンバーによる、「汚物室」「廊下」「居室」「お手洗い」等、チェックリストにより、衛生面の向上を図った。例年同様「手洗いの徹底」実技研修を実施した。</p>						
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由)					
	<p>民設化に伴う入居者の転居対応において赤字を計上。年内までの推移としては昨年度の黒字を上回る状況であったが、入居者の転出が始まるにつれて、配置基準を守るための職員に対する人件費支出が収入を上回り、大きく影響があった。</p> <p>収入増加の取組みとして、入所者の体調変化があった場合、迅速に医療職が判断し、受診等の対応を行うことで、入院の長期化を防ぐことができています。通所介護では、「デイサービスセンターこだなか通信」を活用しながら、新たな利用者の確保の為に、居宅介護支援事業とのつながりを持つことを基本としていたが、新型コロナウイルスの影響により新規利用者の獲得は困難であった。しかし、特別な状況の中、適切な管理運営を行った上で、収入の確保に努めた。</p> <p>短期入所事業では、施設の休止に伴い、特養の新規の受入れができないことから、短期入所にて受入れを積極的に行い、前年度より稼働率が上がっている。</p> <p>施設には、出納職員、会計責任者を配置し、毎月本部の業務遂行監査を実施しており、不適切処理がないかなど適正な管理を徹底した。法人会議等においては、各サービスの利用統計等を毎月確認し、分析・課題抽出を含めて次月対応の周知を行うことで職員に意識させるよう心がけている。</p>					
	サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか						
業務改善によるサービス向上		サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6	
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由)						
<p>平成28年4月運営開始より「褥瘡0を掲げて」運営をする意識を高くもち、現在の褥瘡発症者数を0とするなど、褥瘡対策委員会による研修実施、褥瘡0の取組みについて適切なサービスを提供できている。その他、口腔ケアの充実を具体的な目標に掲げ、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士、看護師と連携し、法人内の言語聴覚士とともに嚥下評価、食形態を見直すことで、誤嚥性肺炎の発症を最小限に抑えることができています。</p> <p>サービス提供の質的向上を図るため、入職者にはOJTを導入し、適切なケアができる体制を実行することで、職員の質的向上も同時に行なった。</p> <p>指定期間終了において入居者の移転を行うにあたり、事前の準備を踏まえ、ご家族へのご理解をいただき、迅速に対応した。</p>						

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>人員配置については、医療ニーズの高い方の受入れ可能な体制作りのため、看護職員を加配している。管理栄養士を配置し、栄養ケアマネジメントを実施している。</p> <p>職員教育・研修の実施については、前年度より多くの外部研修を実施した。研修参加報告書の提出により、研修の成果を参加していない者にも浸透させる手段を講じている。処遇改善として資格手当の増設(認定介護士・上級介護士・スマート介護福祉士)、夜勤手当増額を行い、職員のモチベーションアップに努めた。</p> <p>事故防止に向けた取組みとして、安全管理に関わるマニュアルの作成、更新を適宜行った。その中でも、落葉・葉のヒヤリハット報告が多いため、「与薬に関する研修」を実施し、強化した。</p> <p>コンプライアンスについては、虐待防止、感染症、身体拘束廃止等の各委員で「不適切ケアはないか」「利用者のニーズ」に適合しているかなどを検証し、毎月開催の運営会議、リーダー会議、ケア会議、全体会議で議論ができる場を設けている。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	4	8
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<p>保守点検は、年間予定をもとに保守管理業者と適切に実施している。</p> <p>建物管理については、経年劣化による建物の劣化が進行しているなか、関係機関と適宜連携を図ることができている。</p> <p>業務日誌は、介護ソフトや独自の日誌との連動性を確認し、災害時などに迅速な対応ができるようにパソコン内及びサーバー内の決まったカテゴリーフォルダに保管、セキュリティー対策を講じて管理している。</p> <p>日常的に施設内の清掃、衛生管理に努めている。安全管理マニュアルを「見える化」することで、少しの変化にも気付けるように心がけている。</p> <p>外溝の樹木が近隣住民に迷惑が掛からないように、除草にも力を入れ、今年もデブサービス敷地内の花壇の整備及びゴーヤによる緑のカーテン作戦、剪定を行い、植栽管理を実施、敷地内の美観向上に向けた対応を行った。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、職員全員が感染症対策、健康チェック、利用者への観察力を培うよう情報の共有に努めている。</p> <p>また、職員のスキルアップを目標とし、業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修を定期的に行っている。その結果、介護者の負担軽減や利用者の精神的負担軽減、サービスの質の維持・向上が図られており、全体的な管理運営については、総合評価の結果から優れていると認められる。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>令和2年2月から5月にかけて実施した移管先運営法人の募集において、応募が得られなかったことから、令和2年度をもって、運営を休止している。</p> <p>※当施設については、令和4年度中から民設化による運営開始を予定している。</p>
---